【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和4年12月23日(2022.12.23)

【公開番号】特開2021-96641(P2021-96641A)
【公開日】令和3年6月24日(2021.6.24)
【年通号数】公開・登録公報2021-028
【出願番号】特願2019-227440(P2019-227440)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/0488(2022.01)
Ｈ０４Ｎ　5/232(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/0488
Ｈ０４Ｎ　5/232160
Ｈ０４Ｎ　5/232933
Ｈ０４Ｎ　5/232939

【手続補正書】
【提出日】令和4年12月15日(2022.12.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
表示画面上へのタッチ操作を検出可能なタッチ検出手段と、
前記表示画面において、当該表示画面に表示される第１のアイテムに対応する第１の領域へのタッチ操作が検出されたことに応じて、前記第１のアイテムに対応する所定の処理を実行するように制御し、
前記第１の領域の周囲領域である第２の領域へのタッチ操作が検出された場合に、前記所定の処理を実行せずに、前記第１の領域を識別可能とする所定の表示を行うように制御する制御手段と、を有することを特徴とする電子機器。
【請求項２】
前記制御手段は、第１の領域へのタッチ操作が検出されたことに応じて、前記第１のアイテムに対応する第２のアイテムを表示するように制御し、
前記第２のアイテムは、前記第１のアイテムに対応する項目を設定するためのアイテムである、ことを特徴とする請求項１に記載の電子機器。
【請求項３】
前記第１の領域は、前記第１のアイテムに対応するタッチ反応領域である、ことを特徴とする請求項１又は２に記載の電子機器。
【請求項４】
前記第２の領域は、前記第１の領域の端から一定距離内の領域である、ことを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載の電子機器。
【請求項５】
前記制御手段は、前記第１の領域を識別可能とする前記所定の表示を行った後、所定の条件に応じて前記所定の表示を非表示にするように制御する、ことを特徴とする請求項１乃至４のいずれか１項に記載の電子機器。
【請求項６】
前記制御手段は、前記所定の表示を行った後、所定時間が経過したことに応じて、前記

所定の表示を非表示にするように制御する、ことを特徴とする請求項１乃至５のいずれか１項に記載の電子機器。
【請求項７】
前記制御手段は、前記所定の表示を行った後、前記所定の処理を実行したことに応じて、前記所定の表示を非表示にするように制御する、ことを特徴とする請求項１乃至５のいずれか１項に記載の電子機器。
【請求項８】
前記制御手段は、前記所定の表示として前記第１の領域を示す枠を表示するように制御する、ことを特徴とする請求項１乃至７のいずれか１項に記載の電子機器。
【請求項９】
前記制御手段は、前記第２の領域へのタッチ操作が検出されたことに応じて、前記第１のアイテムが枠で囲われずに表示される状態から、前記第１のアイテムが前記第１の領域を示す枠で囲われて表示される状態に変化させる、ことを特徴とする請求項１乃至８のいずれか１項に記載の電子機器。
【請求項１０】
複数種類の前記第１のアイテムが前記表示画面に表示される場合に、前記複数種類の第１のアイテムにそれぞれ対応する前記第１の領域及び前記第２の領域が設定され、
前記制御手段は、複数の前記第２の領域が重なる位置へのタッチ操作に応じて、タッチされた複数の前記第２の領域にそれぞれ対応する複数の前記第１の領域について前記所定の表示を行うように制御する、ことを特徴とする請求項１乃至９のいずれか１項に記載の電子機器。
【請求項１１】
前記制御手段は、前記第２の領域に対して、第１の種類のタッチ操作が検出された場合は、前記所定の処理を実行せずに、前記所定の表示を行うように制御し、前記第２の領域に対して、第２の種類のタッチ操作が検出された場合は、前記所定の処理を実行し、前記所定の表示を行なわないように制御する、ことを特徴とする請求項１乃至１０のいずれか１項に記載の電子機器。
【請求項１２】
前記第２の種類のタッチ操作は、前記第１の種類のタッチ操作よりも長い時間タッチが継続される操作である、ことを特徴とする請求項１１に記載の電子機器。
【請求項１３】
表示画面上へのタッチ操作を検出可能なタッチ検出手段を備えた電子機器の制御方法であって、
前記表示画面において、当該表示画面に表示される第１のアイテムに対応する第１の領域へのタッチ操作が検出されたことに応じて、前記第１のアイテムに対応する所定の処理を実行するように制御し、
前記第１の領域の周囲領域である第２の領域へのタッチ操作が検出された場合に、前記所定の処理を実行せずに、前記第１の領域を識別可能とする所定の表示を行うように制御する制御ステップ、を有することを特徴とする電子機器の制御方法。
【請求項１４】
コンピュータを、請求項１乃至１２のいずれか１項に記載された電子機器の各手段として機能させるためのプログラム。
【請求項１５】
コンピュータを、請求項１乃至１２のいずれか１項に記載された電子機器の各手段として機能させるためのプログラムを格納したコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】

【０００６】
本発明の電子機器は、表示画面上へのタッチ操作を検出可能なタッチ検出手段と、前記表示画面において、当該表示画面に表示される第１のアイテムに対応する第１の領域へのタッチ操作が検出されたことに応じて、前記第１のアイテムに対応する所定の処理を実行するように制御し、前記第１の領域の周囲領域である第２の領域へのタッチ操作が検出された場合に、前記所定の処理を実行せずに、前記第１の領域を識別可能とする所定の表示を行うように制御する制御手段と、を有することを特徴とする。